DAIKIN

3P087036-1E (813)

ダイキン結露・カビ防止ユニット　ルームドライヤー　デシカント除湿&換気方式

据付説明書

二次元バーコードは製造用コードです。

据付工事終了後もこの据付説明書は移設時などに必要ですので大切に保管してください。

安全上のご注意

- 据付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上正しく据え付けてください。
- ここに示した注意事項は、次の2種類に分類しています。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ 警告	誤った据付けにより、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
⚠ 注意	誤った据付けにより、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性があるもの。状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。

- 本文中に使われる「絵表示」の意味は次の通りです。

❗	指示を守る。
⃠	禁止

⚠ 警告

- 据付けは、この据付説明書に従って確実に行う。
- 吸込口や吹出口に指や棒などを入れない。（禁止）
- 電源コードは、途中で接続したり、延長コードの使用タコ足配線はしない。（禁止）
  感電、発熱、火災の原因になります。
- 100V電源以外では使用しない。（指示を守る）

⚠ 注意

- 据付けは、重量に充分耐える所に確実に行う。
  強度不足や取付けが不完全な場合、ユニットの落下によるケガの原因になります。
- 設置場所によっては、漏電しゃ断器を取り付ける。（指示を守る）
- 吸込口、吹出口、屋外排気口はふさがない。
  故障の原因になります。

据付場所の選びかた

この商品は湿気を気体のまま屋外に排出しますので排水処理は不要です

- 壁面の貫通穴のある場所を選んでください。（未使用のエアコン用配管穴をご使用ください。壁面の貫通穴のない場所に設置される場合は、壁貫通工事または窓用パネルが必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。）
- 排湿ホース(2.5m)が屋外に取り出せる範囲でご使用ください。排湿ホースの長さは、短いほど除湿性能が高くなります。

下記の場所には据え付けないでください

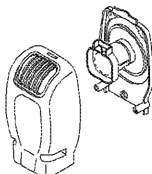
- 室内専用です。床下や天井裏、直射日光のあたる場所、風雨のあたる場所で使用しないでください。……（禁止）
  過熱や感電、漏電、火災の原因になります。
- 水のかかりやすい場所や浴室などでは使用しないでください。……（禁止）
  感電、漏電、火災の原因になります。
- 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へは設置しないでください。……（禁止）
  万一ガスが漏れて、ルームドライヤーの周囲にたまると発火の原因になります。
- 家具のすき間など狭い場所で使用しないでください。……（禁止）
  風通しが悪くなり、発熱、発火の原因になることがあります。
- **ドライエア吹出口付近に障害物がある場所には据え付けないでください。障害物のある場合は、15cm以上離してください。**
- 木ネジが打てない場所(コンクリートやタイル面など)には、専用の工具を用いなければ壁掛設置できません。不明な場合はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

付属部品

取付ネジ	排湿ホース(長さ2.5m、φ45mm)	防虫ネット付エルボ	パテ	アンカー	リモコン	結束バンド	乾電池単3	据付型紙	表紙銘板
3個	1個	1個	1個	3個	1個	1個	2本	1枚	1枚

高気密住宅の場合

逆流防止ダンパーセット(ウォールカバー付)(別売品:KDE949A4)を準備してください。
換気扇併用時に外気が逆流し、故障の原因になります。



用意する工具

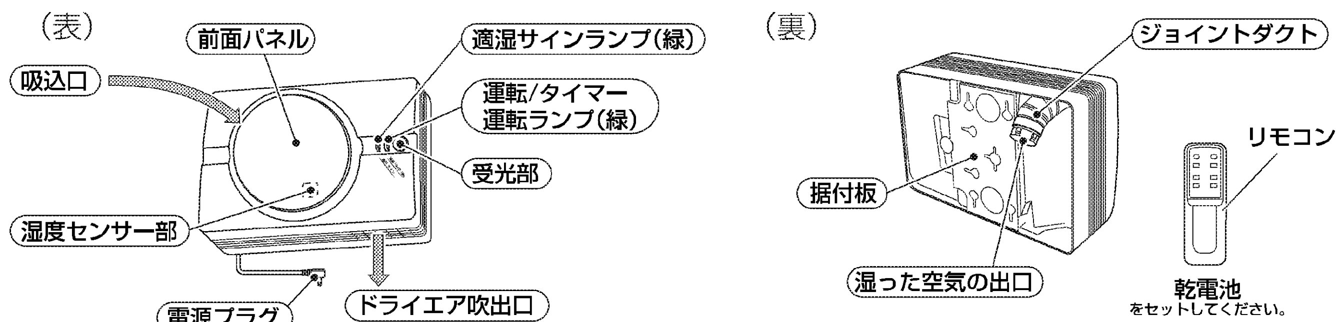
必ず必要な道具

- プラスドライバー
- はさみ

準備しておくと便利な道具

- えんぴつ
- カッター
- セロテープ

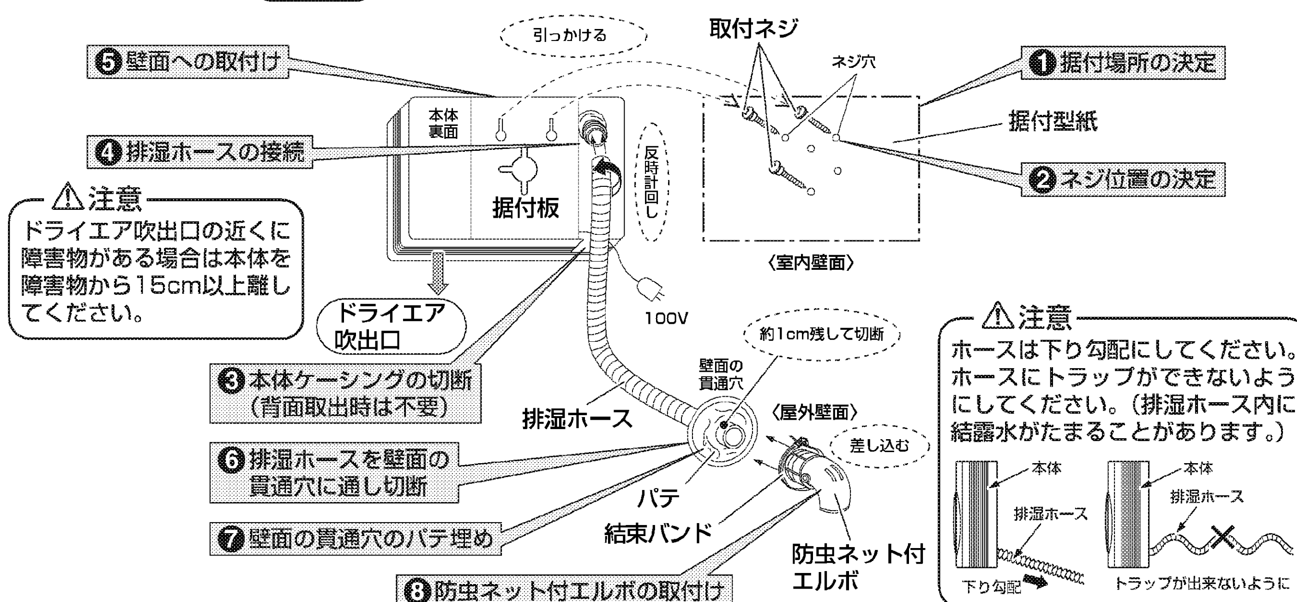
各部のなまえ



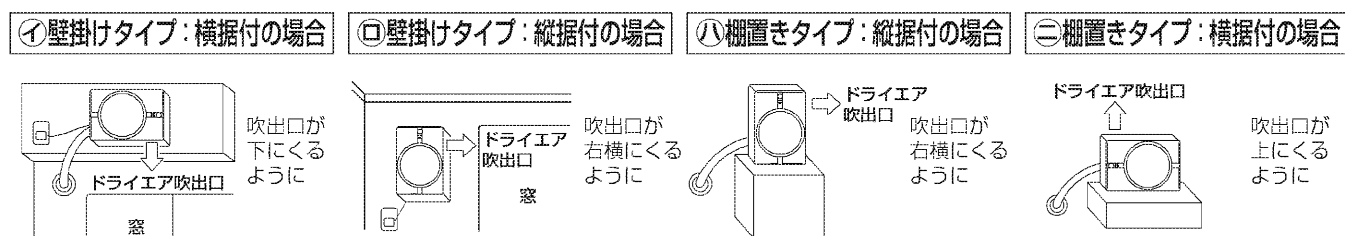
本体据付概略図

●この商品はお部屋の状況に合わせて据付タイプを「壁掛けタイプ」と「棚置きタイプ」からお選びいただけます。

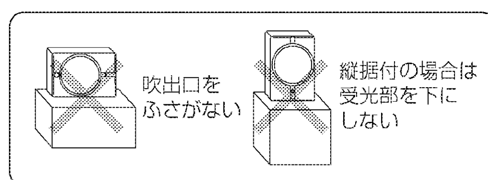
※下記の据付図は「壁掛けタイプ横据付」です。据付手順はどのタイプを選んでいただいても共通です。
作業の詳細は、裏面の **据付手順** をご覧ください。



据付推奨例



棚置きタイプ(㋩、㋥)にされる場合には市販の転倒防止金具をご利用の上、製品が転倒しないよう固定してお使いください。
据付方法に、棚置きタイプの横据付を選ばれる場合、本体に印刷されている文字(運転/タイマー運転・適湿サイン)の上に付属部品の表示銘板を貼り付けていただくと文字が見やすくなります。



最適な据付場所を選ぶワンポイントアドバイス

- 窓の結露を防止したい場合、窓にそって本体ドライエア吹出口からの風があたる場所をお選びください。
- 別荘などのカビを防止したい場合、日あたり、風通しが悪くジメジメが気になるお部屋をお選びください。

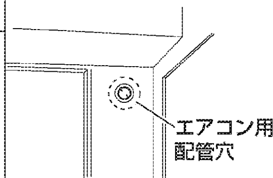
(裏面につづく)

据付手順

※各作業は次のタイプの据付時に必要です。

据付タイプ(裏面参照)				
㋑	㋺	㋩	㋥	
○	○	○	○	❶ 据付場所・据付方法の決定
○	○	—	—	❷ ネジ位置の決定
(○)	(○)	—	—	❸ 本体ケーシングの切断
○	○	○	○	❹ 排湿ホースの接続
○	○	—	—	❺ 壁面への取付け

❶ 据付場所・据付方法の決定

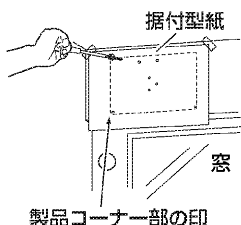


1. お部屋の状況に合わせて裏面の 据付推奨例 の中から据付タイプを選びます。
2. 据付場所を選びます。
   据付けには壁面の貫通穴が必要になります。
   未使用のエアコン用配管穴を選んでください。

ワンポイントアドバイス

据付場所の近くに吸気口がある場合は、運転中の屋外からの湿気の流入を防ぐために閉めてください。

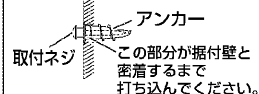
❷ ネジ位置の決定　※棚置時は不要です。



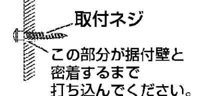
1. 据付型紙を壁にあてて本体とネジの場所を決定します。(製品背面の据付板は外さないでください。)
2. 壁面にネジ位置と製品のコーナー部の印を付けて据付型紙をはずします。(各据付タイプのネジ位置は据付型紙で確認してください。)
3. アンカーと取付ネジを印をつけた場所に打ちます。
   (アンカーはボード壁用です。板壁への設置時には不要です。)

ワンポイントアドバイス

- ボード壁への取付け時
  付属部品のアンカーを壁に打ち込んだ後、取付ネジをアンカーの中に打ち込んでください。

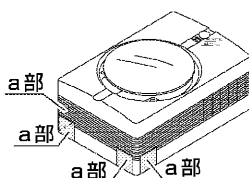


- 板壁への取付け時



- 据付型紙はセロテープで仮止めすると作業しやすくなります。

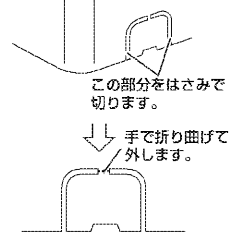
❸ 本体ケーシングの切断　※壁面の貫通穴の真上に本体を設置する場合は不要です。



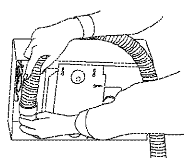
1. 製品本体側面にある排湿ホース取出口(左記ａ部)が必要な場合は、いずれか１ヵ所をはさみで切り取ってください。
   排湿ホース取出口は、４ヵ所ありますので壁面の貫通穴に最も近い場所を選んでください。

ワンポイントアドバイス

ケーシングの切断のしかた



❹ 排湿ホースの接続

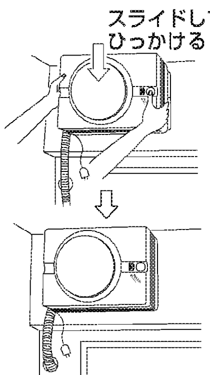


1. ジョイントダクトの蛇腹部をのばしてください。
2. 排湿ホースをジョイントダクトに差し込み、反時計回りにねじ込んでいきます。
3. 排湿ホースは深く差し込んでください。
   排湿ホース取付け後、抜けないか確認してください。
   (排湿ホースをはずすときも反時計回りにねじってください。)
4. 電源コードを取り出します。

ワンポイントアドバイス

電源コードは必要な分だけ本体の外に出し、余った分を、本体の背面に収納しておくときれいに設置できます。

❺ 壁面への取付け



1. ❷ ネジ位置の決定 で取り付けた取付ネジに本体を引っかけて壁面に取り付けます。
2. 排湿ホースを壁面の貫通穴に通してください。

⚠注意

取付ネジに本体が完全にひっかかっているか確認してください。

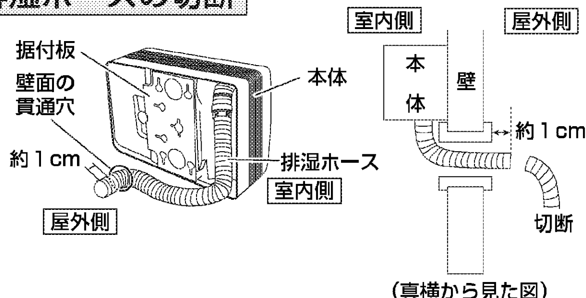
ワンポイントアドバイス

- ❷ ネジ位置の決定 で印をつけた製品コーナー部の目印より５cm程上から壁にそって本体をスライドさせると引っかかりやすくなります。
- 室内側の排湿ホースを壁に固定する場合は市販のホース止めバンドをご利用ください。

※各作業は次のタイプの据付時に必要です。

据付タイプ(裏面参照)				作業
イ	ロ	ハ	ニ	
○	○	○	○	❻ 排湿ホースの切断
○	○	○	○	❼ パテ埋め
○	○	○	○	❽ 防虫ネット付エルボの取付け

❻ 排湿ホースの切断

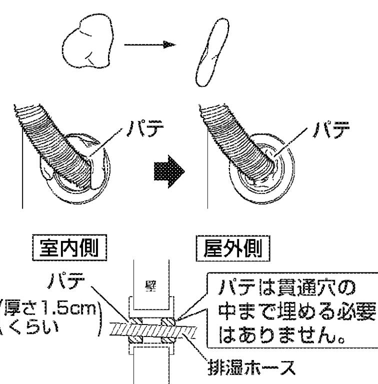


1. パテ埋めの前に屋外の余分な排湿ホースをはさみで切断してください。壁面の貫通穴から約1cmの所で切断してください。

お願い

切断後の排湿ホースは不燃ゴミとして廃却してください。

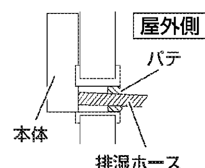
❼ パテ埋め



1. パテを半分取り出し横に長くのばし棒状にします。(パテは手でもんでいるとやわらかくなります。)
2. パテで室内側のホース回りをつつみ壁面の貫通穴と排湿ホースの間をすき間なく埋めます。
3. 残りの半分のパテで屋外側からも排湿ホースと壁面の貫通穴の間をすき間なく埋めます。

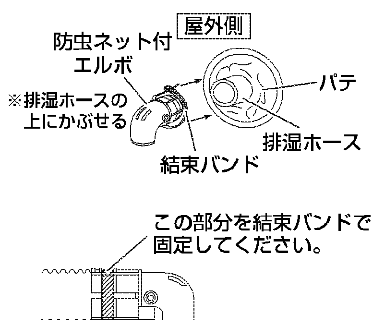
ワンポイントアドバイス

- 貫通穴の真上に製品を取り付ける場合は、屋外側のパテ埋めのみ行ってください。



- パテが足りない場合はホームセンターなどで空調用パテを購入してください。

❽ 防虫ネット付エルボの取付け



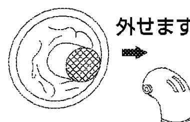
1. 屋外側に出た排湿ホースの先端に防虫ネット付エルボをかぶせてください。(防虫ネット付エルボは下に向けてご使用ください。)
2. 防虫ネット付エルボを結束バンドで固定してください。
3. 余った結束バンドをはさみで切ってください。

⚠注意

排湿ホースの先端からは水は出ませんので排水処理は不要です。

ワンポイントアドバイス

- エルボがあたって邪魔な場所に取り付ける場合には、エルボを外して防虫ネットだけでもご使用いただけます。



- 高気密住宅の場合は、換気扇併用時に外気が逆流し、故障の原因になるため、逆流防止ダンパーセット(ウォールカバー付)(別売品:KDE949A4)を使用してください。

⇩

以上で据付作業は終わりです。

- 縦据付で使用の場合は、前面パネルの文字の方向を設置方向に合わせてください。時計回りに回して合わせてください。
- コンセントを差し込んで、リモコンで試運転を行ってください。試運転はパワフル運転をご利用ください。

確認してください

据付作業終了後、下記項目の確認を行ってください。

チェック項目	不良の場合
●排湿ホースは下り勾配になっていますか。	排湿ホース内に発生した結露水が製品本体に逆流するおそれがあります。必ず勾配をお取りください。
●製品本体がガタついていませんか。	本体が落下する危険があります。しっかりと固定し直してください。
●ドライエア吹出口付近に障害物はありませんか。	除湿効率が低下し、湿害を防止できないことがあります。
●パテ埋めはすき間なくできていますか。	雨天時などに屋外から湿気が流入することがあります。
●排湿ホースが雨ざらしの場所に出ていませんか。	配管穴から雨水が浸入するおそれがあります。市販の雨よけカバーの取付けとコーキング処理をおすすめします。